

ご使用になる前に

本紙では、本体タッチキーの操作について記載しております。

タッチキー設定

リモコンの「スリープ / タッチキー設定」ボタンを押して、タッチキーの設定を切り換えることができます。

タッチキー設定



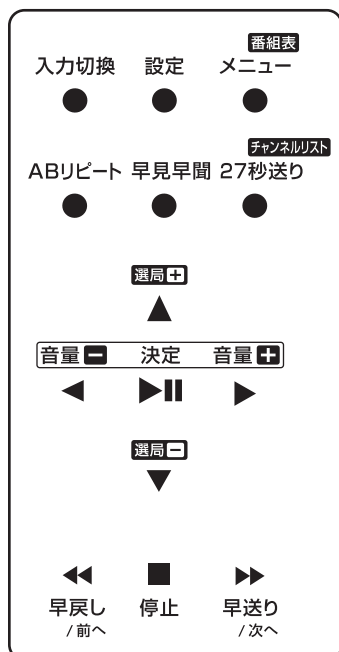
タッチ音： タッチしたときの操作確認音を鳴らすかどうか、オン・オフを切り換えます。

タッチ無効： 誤った操作を防止のためにタッチ操作を無効にするかどうか、オン・オフを切り換えます。

- ◆ 上下キーで設定項目を選択して、左右キーで切り換えます。
- ◆ 再び「スリープ/タッチキー設定」ボタンを押して、設定を終了します。

タッチ長押し操作

一部のキーでは、1 秒以上長くタッチすると別の操作を行えます。



入力切換キー：

DVD 「DVD/カード」を切り換えます。

設定キー：

テレビ 「チャンネルスキャン」を行います。

メニューキー：

DVD 「トップメニュー」を表示します。

AB リピートキー：

DVD 「リピート」を切り換えます。

27 秒送りキー：

DVD 「10 秒戻し」を行います。

早戻しキー：

DVD 「前スキップ」を行います。

早送りキー：

DVD 「次スキップ」を行います。

BLUEDOT®

地上デジタル放送対応
ポータブルDVDプレーヤー
BDP-1950/TV
取扱説明書



BLUEDOT株式会社

はじめに

弊社ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
はじめに、この取扱説明書と保証書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。

本機の特長

1. 地上デジタル(フルセグ/ワンセグ)テレビチューナーを内蔵

地上デジタルチューナーを内蔵し、ワンセグ放送だけでなくフルセグ放送の映像もお楽しみいただけるので、使わないときはしまっておけるテレビとしてもご活用いただけます。

アンテナケーブルは標準で付属しているので、購入してすぐにテレビもご覧いただけます。

※電波状況にあわせて自動的にフルセグ・ワンセグが切り換わるほか、フルセグ優先・ワンセグ優先の設定にも対応しています。

2. 高精細な9V型液晶を搭載

9インチの大画面液晶パネルを搭載。画面画素数も800×480×3(RGB)画素と高精細なので、テレビやDVDの字幕もくっきりと美しく表現することができます。

3. 便利な早見早聞、27秒送りに対応

学習時やすきま時間を効率的に楽しみたいときに便利な「早見早聞(1.5倍速)」に対応。教材ビデオやドキュメンタリービデオなどを短時間で視聴するときなどに便利です。

また、録画ディスクの再生に便利な「27秒送り」、語学DVDなどに便利な「ABリピート」も本体に操作ボタンを搭載しているので、すぐに活用していただけます。

4. 拡張されたレジューム機能に対応

本に『しおり』をはさむように、今まで観ていたシーンを覚えてくれるレジューム機能も搭載。再び電源を入れたとき、前回の続きから映像をお楽しみいただくことができます。本機では、DVDビデオやCPRM対応ディスクなどを5枚分まで記憶できるので、家族で共有してお使いの場合でも安心してお楽しみいただけます。

5. 3時間バッテリーを内蔵

連続再生3時間の充電式バッテリーを内蔵しています。キッチンやベッドサイドでお使いいただくときにも安心してご覧ください。

また、9インチの大型液晶を搭載し、テレビチューナーやバッテリーも内蔵しながら厚さ35mmと薄型なので、持ち運びにも便利です。

※明るさ標準、イヤホン使用時の目安です。使用環境やバッテリーの状態などにより変わります。

6. SDHCメモリーカードの再生に対応

最大32GBまでのSDHCメモリーカードに記録された、MP3ファイルやJPEGファイルなどを再生することができます。

※メモリーカードの製造メーカーや記録の状態などによっては再生できない場合があります。

もくじ

はじめに

はじめに	2
本機の特長	2
もくじ	3
安全にお使いいただくために	4
お使いになる前に	7
用語の説明	7
本機で再生できるメディア	8
本機で再生できるリージョンコード (地域番号)	8
各部の名前	9
本体	9
リモコン	10
外部機器と接続するとき	11
テレビに接続する	11
テレビとオーディオアンプ、またはAVアンプ に接続する	11
外部の映像を本機で再生する	12
テレビ視聴の準備	13
アンテナケーブルを接続する	13
B-CASカードを挿入する	14
電源の準備	15
電源の接続	15
内蔵バッテリーを充電する	15
リモコンの使いかた	16

DVD/CDを見る

ディスクの基本操作	17
いろいろな再生をする	18
DVDのメニュー再生	18
字幕(サブタイトル)を切り換える	18
音声(オーディオ)を切り換える	18
早見早聞再生	18
サーチ(早送り/早戻し)	19
スキップ(飛び越し)	19
27秒送り	19

10秒戻し	19
レジューム機能	19
ズーム再生	20
リピート再生(繰り返し)	20
ABリピート再生	20
再生情報を表示する	21
消音(ミュート)にする	21
スリープ機能	21

テレビを見る

チャンネルを設定する	22
チャンネルを再設定する	22
チャンネルを選ぶ	22
音量を調節する	23
字幕を切り換える	23
音声を切り換える	23
番組表を表示する	23
チャンネルリストを表示する	23

MP3/JPEG ファイルを見る

MP3/JPEG ファイルを再生する	24
準備	24
メニュー画面から選んで再生する	25
いろいろな再生をする	25
JPEG ファイルのいろいろな再生	26

設定変更する

初期設定を変更する	27
設定内容の説明	27
【DVDの設定】	
各種設定を行う	30
パスワードを変更する	30
【テレビの設定】	
各種設定を行う	31
パスワードを変更する	31
液晶画面を調節する	32
故障かな?と思ったら	33
技術仕様	35

付属品

本機には、下記の付属品が同梱されています。
梱包を開けて、すべての付属品があるか点検してください。

・AV出力用オーディオ・ビデオコード (本機専用)	1	・リモコン	1
・AV入力用オーディオ・ビデオコード (本機専用)	1	・ACアダプター	1
・アンテナケーブル(フルセグ用)	1	・カーバッテリーアダプター	1
・アンテナ変換アダプター (フルセグ用)	1	・取扱説明書	1
・外付けロッドアンテナ(ワンセグ用)	1	・保証書	1
		・mini B-CASカード	1

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		記号は、禁止される行為を表しています。
		記号は、行わなければならないことを表しています。

警告



プラグを
抜く

異常な状態が見つかったら

煙が出たり、変なおいや音がするなどの異常が見つかった場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。その後、弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。



ACアダプターなどは必ず付属品を使う。

指定以外のものを使用すると、火災や破損の原因となります。



禁止

付属のACアダプターはAC100～240V、50/60Hz以外の電源で使わない。

指定以外の電圧で使用すると、火災や感電、破損の原因となります。

また、海外での使用で故障した場合は、保証対象外となります。



禁止

付属のカーアダプターはDC12V以外の電圧で使わない。

指定以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



内蔵バッテリーは指定の方法で充電する。

間違った方法で充電すると、火災や破損、液漏れの原因となります。



電源コードは正しく抜き差しする。

- ・濡れた手で抜き差しをしない。
 - ・電源プラグを持って抜き差しし、コードは引っ張らない。
 - ・電源プラグは根元まで確実に差し込む。
 - ・ほこりや汚れを付けたまま使用しない。
- 火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- ・加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしない。
 - ・上に重いものを載せない。
 - ・ステーブルなどでとめない。
 - ・熱器具に近付けたり、加熱したりしない。
- コードが破損すると、火災や感電の原因となります。



禁止

内蔵バッテリーは火中投入、加熱したり、高温下で放置、充電、使用しない。

液漏れ、発熱、発火、破裂の原因となります。

警告



禁止

レーザー光線は絶対にのぞかない。

ディスクの読み取りには、レーザー光線を使用しています。本体ケースを開けたり、本書の記載によらない操作を行って、レーザー光線を直接のぞかないでください。視力障害の原因になる場合があります。



禁止

次のような場所には置かない。

- ・ ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所。
- ・ 風呂場など、湿気やほこりの多い場所。
- ・ 加湿器のそばなど、煙や湯気が出る場所。
- ・ 窓を閉めきった車の中、ダッシュボードの上や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所。
- ・ 花瓶やコップのそばなど、水がかかりやすい場所。

本体が落下して破損したり、熱や水滴による破損や火災、感電の原因となります。



禁止

ひざの上で長時間使用しない。

本体の底面が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となります。



禁止

布や布団で覆わない。

本体やACアダプターなどを、布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。熱がこもると、ケースの変形や火災の原因となります。



禁止

内部に異物や水などを入れない。

本体やACアダプターなどの内部に、金属類や燃えやすいものを入れたり、液体をこぼしたりしないでください。火災や感電、破損の原因となります。



禁止

落下した機器は使わない

落としたり強い衝撃を与えたりして本体が破損した場合は、まず本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。その後、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



分解禁止

分解や改造はしない。

内部の部品に直接触れると、火災や感電、けがの原因となります。

また、弊社で責任を負うことができず、保証対象外となります。



禁止

運転中は絶対に使用しない。

車や自転車、オートバイなどを運転しながら、または歩行しながらの視聴は、絶対におやめください。

また運転中、運転手以外の方が視聴する場合は、運転の妨げとならないよう、音量などに注意してください。

重大な交通事故の原因となります。



乳幼児の手の届かない場所に置く。

本体の開閉時に指を挟んでけがをしたり、ボタン電池やメモリーカードなどの部品を飲み込んで窒息したり中毒になる恐れがあります。

万一何かを飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。



禁止

雷が鳴り始めたら

本体やACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

注意



プラグを
抜く

長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のためにACアダプターをコンセントから抜いてください。



プラグを
抜く

お手入れのときは電源プラグを抜く。

感電や破損の原因となります。



プラグを
抜く

移動するときは全ての接続を外す。

ACアダプターやオーディオ・ビデオコードなどを外してから移動してください。コードが破損すると、火災や感電の原因となります。



禁止

機器の上に重いものを載せない。

機器の上に重いものを載せないでください。また、機器の上に乗らないでください。破損やけがの原因となります。



ボタン電池は指定のものを使用する。

リモコンの電池は必ず「CR2025」を使用してください。また、＋極と－極の向きに注意して、正しく交換してください。火災や破損、液漏れの原因となります。



ディスクは回転が完全に止まってから取り外す。

けがの原因となります。また、ディスクが傷つく恐れがあります。



禁止

破損または変形したディスクは使用しない。

本体を傷つけたり、本体内部に破片が飛び散ったりする恐れがあります。また、ディスクをさらに傷つける恐れがあります。



音量は徐々に大きくする。

電源をオフにする前や外部機器と接続する前、ヘッドホンを抜き差しする前には、あらかじめ音量を小さくしてください。突然大きな音が出ると、聴力障害の原因となります。



禁止

大音量で長時間続けて聞かない。

耳を刺激するような大音量で長時間続けて音を聞くと、聴力障害の原因となります。ヘッドホンを使用するときは特に注意してください。



禁止

映像を長時間続けて見ない。

映像を長時間続けて見ると、視力障害の原因となります。また、目だけでなく体の一部に疲労感や痛みが出る恐れがあります。そのときは使用を中断して、しばらく休息をとってください。万一休息しても回復しない場合は、すぐに医師に相談してください。

データの破損について

お客様の取り扱いや、静電気、電氣的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、ディスクやデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お使いになる前に

ディスク使用上の注意

ディスクの取り扱い方

- ・ディスクを汚さないように、再生面には触れないでください。
- ・ディスクに紙やテープを貼らないでください。
- ・ディスクに直射日光や熱源を当てないでください。
- ・再生後はディスクケースに保管してください。



ディスクの掃除

再生前に、柔らかくて清潔な布でディスクの中心から放射状に拭いてください。



結露(露つき)について

本機を寒い場所から温かい場所へ急に移動したり、湿気の多い場所に置いたりすると、湿気がピックアップレンズなどに結露し、故障や再生不良の原因となります。

その場合は、本機の電源を入れずに放置し、結露を蒸発させてからご使用ください。

ディスクの絵表示について

この説明書では、下のようなマークで使用できる機能を表しています。

マーク	表示
	DVDの機能
	CDの機能

用語の説明

タイトル

DVDでは、映画本編と特典映像のように、異なる複数の内容が記録されていることがあります。

このような大きな区分けをタイトルといいます。

チャプター

各タイトルでは、一定の時間やシーンなどによって、さらに小さく内容を分けていることがあります。

このような小さな区分けをチャプターといいます。

トラック

CDに記録されている各曲のことを、便宜上、トラックということがあります。

CDDA

音楽CDのことを、他のデータCDなどと区別するためにCDDAということがあります。

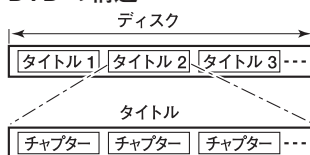
MP3

音声圧縮方式の一つで、高音質のまま音楽データのファイルサイズを小さくすることができます。

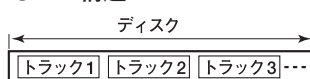
JPEG

静止画圧縮方式の一つで、デジタルカメラの写真やインターネット用の画像として、広く使われています。

DVDの構造

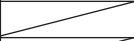


CDの構造



本機で再生できるメディア

下の表のメディアが再生できます。

種類	メディア	ロゴ	内容	サイズ
DVDビデオ	DVD		動画	12cm
				8cm
DVD-VR (VRモード)	DVD		動画	12cm
				8cm
CDDA	オーディオCD		音楽	12cm
				8cm
MP3	データDVD/データCD/メモリーカード		音楽	
JPEG	データDVD/データCD/メモリーカード		画像	

- ◆ 本機では、DVD-R/RW、DVD+R/RW、CD-R/RW、SDHC/SDメモリーカードを再生をすることができません。

次のメディアは本機では再生できません

- ※ ブルーレイ、HD DVD、DVD オーディオ、SACD、DVD-RAMなどのディスクには対応していません。
- ※ AVCHD方式やAVCREC方式、HD Rec方式で記録されたディスクには対応していません。
- ※ レコーダーで録画したDVDで、ファイナライズされていないディスクには対応していません。
- ※ パケットライト方式で記録されたデータディスクには対応していません。
- ※ microSD/miniSDメモリーカードをお使いいただくときは、市販の変換アダプターが別途必要です。
- ※ コピーコントロールCDなどの特殊なディスクは再生できない場合があります。
- ※ メディアの記録状態やフォーマット、製造メーカーなどによっては再生できない場合があります。

本機で再生できるリージョンコード(地域番号)

DVDビデオ及びDVD再生機器には、地域ごとに割り当てられたリージョンコードが記録されています。

市販のDVDビデオは、DVD再生機器のリージョンコードと一致していないと再生できません。

日本国内のリージョンコードは“2”です。

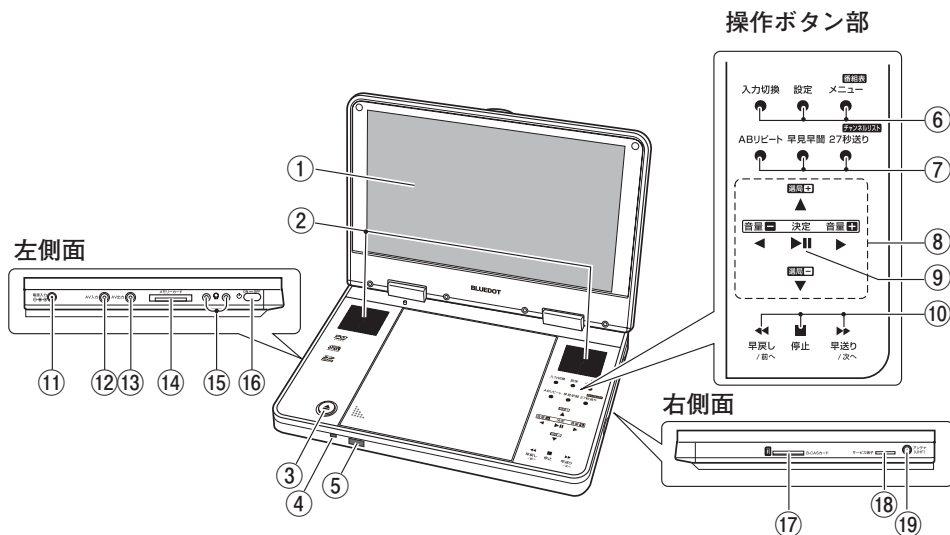
本機のリージョンコードも“2”に設定されており、DVDのケースなどに右のマークのあるディスクが再生できます。



- ※ リージョン“ALL”はリージョン“0”と表現されていることがあります。

各部の名前

本体



- ① 液晶ディスプレイ
- ② スピーカー
- ③ 開く(▲)ボタン
- ④ 電源ランプ
- ⑤ リモコン受光部
- ⑥ 入力切替ボタン
設定ボタン
メニュー / 番組表ボタン
- ⑦ AB リピートボタン
早見早聞ボタン
27秒送り / チャンネルリストボタン
- ⑧ 上 / 下 / 左 / 右方向ボタン
- ⑨ ►||◄(再生 / 一時停止) / 決定ボタン
- ⑩ 早戻し(◀◀) / 前へボタン
停止(■) / 戻るボタン
早送り(▶▶) / 次へボタン

※ 早戻し / 早送りボタンは、1秒以上長くタッチすると前スキップ / 次スキップとして機能します。

左側面

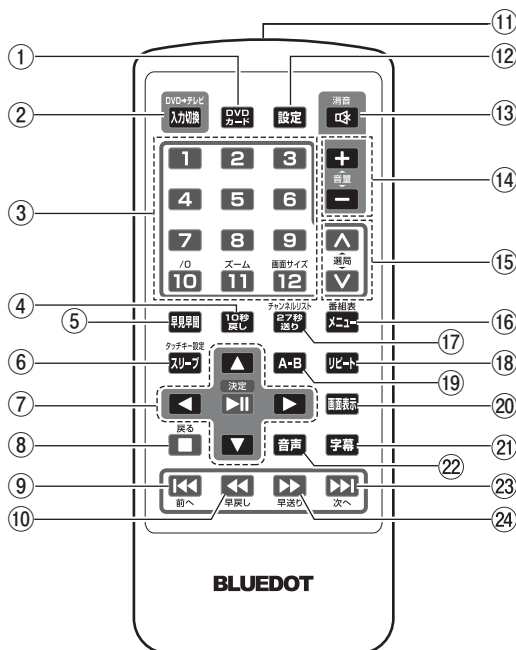
- ⑪ 電源入力端子
- ⑫ AV入力端子
- ⑬ AV出力端子
- ⑭ メモリーカードスロット
- ⑮ 〇(ヘッドホン端子)
※ ヘッドホンは2本同時に使用できます。
- ⑯ 〇(電源オン / オフ)スイッチ

右側面

- ⑰ mini B-CAS カードスロット
- ⑱ サービス端子 ※ 使用しません。
- ⑲ アンテナ入力端子

※ 再生視聴中は、左 / 右ボタンで音量調節を行います。テレビ視聴中は、上 / 下ボタンで選局(チャンネル切換)を行います。

リモコン

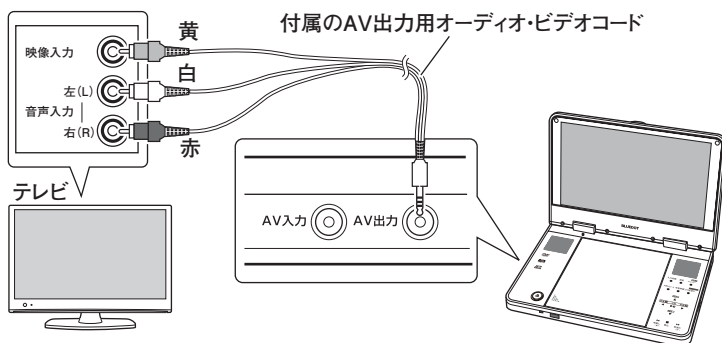


- | | |
|---|---------------------|
| ① DVD/カードボタン | ⑪ 送信部 |
| ② 入力切換ボタン | ⑫ 設定ボタン |
| ③ 数字ボタン | ⑬ 消音ボタン |
| ※10ボタンは、0を入力するときも使用します。 | ⑭ 音量+/-ボタン |
| ※11/12ボタンは、DVD再生時にはそれぞれズーム/画面サイズとして機能します。 | ⑮ 選局ボタン |
| ④ 10秒戻しボタン | ⑯ メニュー/番組表ボタン |
| ⑤ 早見早聞ボタン | ⑰ 27秒送り/チャンネルリストボタン |
| ⑥ スリープ/タッチキー設定ボタン | ⑱ リピートボタン |
| ⑦ 上/下/左/右方向ボタン | ⑲ A-B リピートボタン |
| ▶ (再生/一時停止)/決定 ボタン | ⑳ 画面表示ボタン |
| ⑧ ■ (停止)/戻るボタン | ㉑ 字幕ボタン |
| ⑨ ◀◀ (前へ)スキップボタン | ㉒ 音声ボタン |
| ⑩ ◀◀ (早戻し)ボタン | ㉓ ▶▶ (次へ)スキップボタン |
| | ㉔ ▶▶ (早送り)ボタン |

外部機器と接続するとき

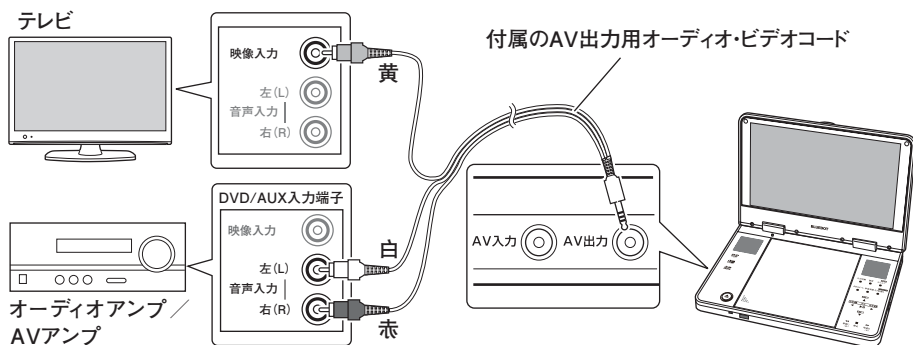
⚠ ACアダプターは全ての接続が終了してから最後に接続してください。

テレビに接続する



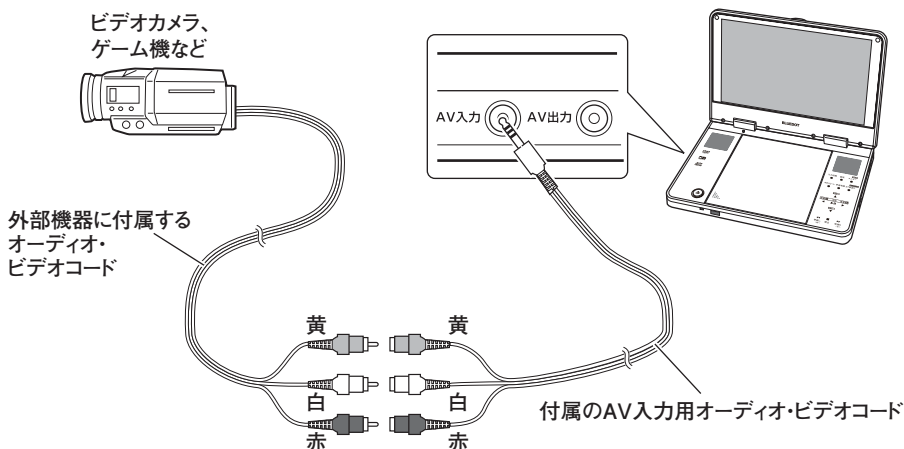
- ◆ オーディオ・ビデオコードを接続するときに雑音が出ることがありますので、テレビの音量(ボリューム)を最小にしてください。
- ◆ 付属のAV出力用オーディオ・ビデオコードのミニプラグを本機の**AV出力**端子に接続します。赤白黄のピンプラグをそれぞれ対応するテレビの入力端子に接続します。
- ◆ テレビと接続したときは、本機の液晶画面とテレビの両方で映像をお楽しみいただけます。
- ◆ 本機とAV出力先の音量は連動しています。本機スピーカーからの音声が必要ないときは、本機にイヤホンなどを接続してください。

テレビとオーディオアンプ、またはAVアンプに接続する



- ◆ オーディオ・ビデオコードを接続するときに雑音が出ることがありますので、アンプの音量(ボリューム)を最小にしてください。
- ◆ 付属のAV出力用オーディオ・ビデオコードのミニプラグを本機の**AV出力**端子に接続します。赤白のピンプラグはアンプの音声入力端子に、黄のピンプラグはテレビの映像入力端子に接続します。
- ◆ テレビと接続したときは、本機の液晶画面とテレビの両方で映像をお楽しみいただけます。
- ◆ 本機とAV出力先の音量は連動しています。本機スピーカーからの音声が必要ないときは、本機にイヤホンなどを接続してください。

外部の映像を本機で再生する



- ◆ 付属のAV入力用オーディオ・ビデオコードのミニプラグを本機の**AV入力**端子に接続します。
- ◆ 付属のAV入力用オーディオ・ビデオコードと、外部機器に付属するオーディオ・ビデオコードとを接続します。
- ◆ 外部機器によっては、接続方法が上記と異なる場合があります。詳しくは外部機器の取扱説明書を参照してください。

AV入力モードに切り換える

外部機器を再生するときは、入力切換ボタンでAV入力モードに切り換えてください。
ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

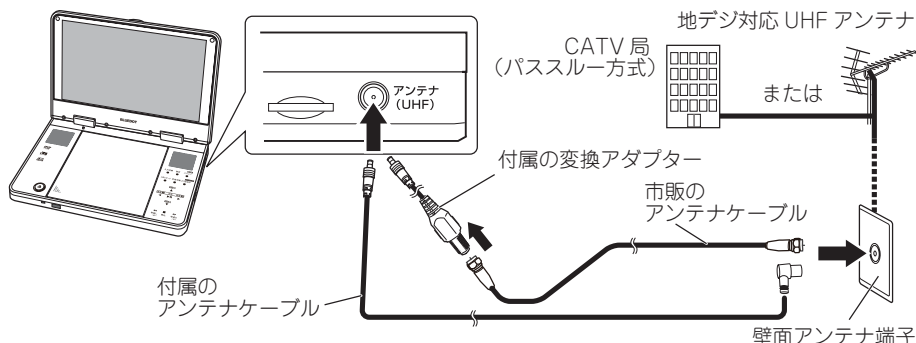
- ➡ ① DVD : 本機の液晶画面でDVDをご覧になるとき。
また、**AV 出力**端子に接続したテレビなどでご覧になるとき。
- ② TV : 本機の液晶画面でテレビをご覧になるとき。
- ③ AV入力 : AV 入力端子に接続した外部機器の映像を本機でご覧になるとき。

- ◆ ご購入後に本機の電源スイッチをオンにした直後は、①の状態になっています。
- ◆ ボタン操作のとき、信号切換のためにしばらくの間、画面が黒または青になりますが、故障ではありません。
- ◆ 映像信号が入力されていない場合、画面は青になります。
- ◆ AV入力をご使用後、DVDを再生する場合はAV入力用オーディオ・ビデオコードのミニプラグをはずしてからご使用ください。

テレビ視聴の準備

アンテナケーブルを接続する

付属のアンテナケーブルまたは市販のアンテナケーブルを使用して屋外アンテナに接続する



図のように付属のアンテナケーブルを使用して、または付属の変換ケーブルと市販のアンテナケーブルを使用して壁面のアンテナ端子に接続します。

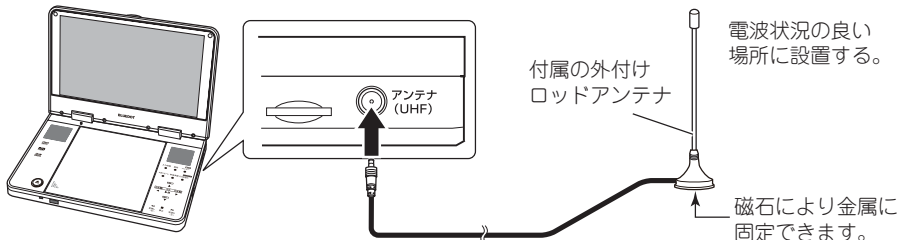


- ・ 1つのアンテナ端子に複数のテレビを接続する場合は、市販の分配器をご利用ください。
- ・ アンテナケーブルを購入される際は、太く短いものをおすすめします。ケーブルが長くなるほど信号が弱まります。

付属のワンセグ用ロッドアンテナに接続する

ワンセグ視聴用のアンテナとしてお使いください

電波状況が非常に良くないと地上デジタル(フルセグ)放送は受信できません。



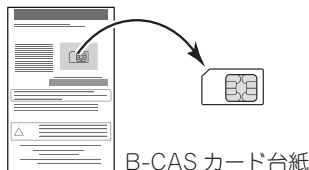
- ・ 電波状況が悪い場合は受信できません。他の機器で受信できても本機で受信できるとは限りません。
- ・ 安定して受信するためには壁面のアンテナ端子への接続をおすすめします。

本機は「フルセグ」と「ワンセグ」を切り換えることができます。

- ①自動切換 : 電波の受信レベルに応じてフルセグとワンセグを切り換えます。
(工場出荷時) 受信レベルが低くなると自動的にワンセグに切り換わります。
- ②フルセグ優先: フルセグ放送のみを受信します
- ③ワンセグ優先: ワンセグ放送のみを受信します。

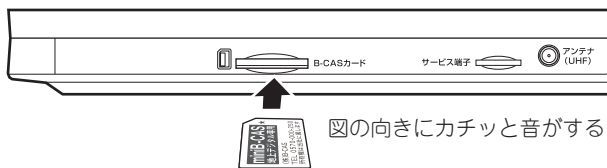
B-CAS カードを挿入する

1. B-CAS カードの台紙の内容を一読し、同意された上で B-CAS カードを外す



2. B-CAS カードを正しい向きで確実に挿入する

右側面



図の向きにカチッと音がするまで差し込みます。



- ・ B-CAS カードの金属端子には触れないでください。
- ・ B-CAS カードを折り曲げたり、変形させたり、傷つけたり、濡らしたりしないでください。
- ・ B-CAS カードを分解したり、加工したりしないでください。
- ・ B-CAS カード以外のものを本機に挿入しないでください。
- ・ B-CAS カードをスムーズに挿入できないときは無理矢理押し込まず、ゆっくりと入れ直してください。
- ・ 本機を使用中に B-CAS カードを抜き差ししないでください。
- ・ B-CAS カードを抜く場合は、テレビの電源をオフにしてから AC アダプターを外し、一度カードを押し込んでからゆっくり引き抜いてください。

破損・紛失などにより B-CAS カードの再発行が必要な場合は…

詳しくは、B-CAS カードの台紙に記載のある「B-CAS カスタマーセンター」にご連絡ください。
なお、再発行に当たっては別途料金が必要になります。

B-CAS カスタマーセンター: 0570-000-250

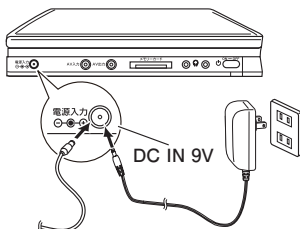
(ナビダイヤルをご利用にならない場合は: 045-680-2868)

※その他、B-CAS カードに関するお問い合わせは B-CAS カスタマーセンターにご連絡ください。

電源の準備

電源の接続

AC 電源で使用する



カーバッテリーアダプター AC アダプター

- ◆ 付属の AC アダプターを本機の電源入力端子に接続します。
- ◆ 付属の AC アダプターは交流 100V ～ 240V に対応しています。(保証対象は国内での交流 100V 使用のみとなります。)
また、付属のカーバッテリーアダプターは 12V 車専用です。



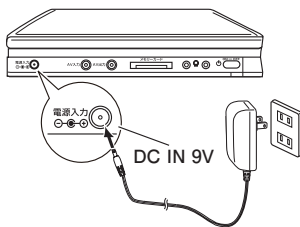
- 指定の電圧以外では使わないでください。
- AC アダプターやカーバッテリーアダプターを取り外す前に、必ず本機の電源スイッチをオフにしてください。

内蔵バッテリーで使用する

充電してください

- ◆ 充電電池の残りが少なくなると、画面左下に「充電してください」とメッセージが表示されます。
- ◆ 工場出荷時は内蔵バッテリーは充電されていません。ご使用前に下の手順に従って充電してください。

内蔵バッテリーを充電する



- ◆ 付属の AC アダプターの DC コード側を本体の電源入力端子に接続し、プラグ側をコンセントに差し込みます。
- ◆ 充電が開始して、電源ランプが赤色に点灯します。
- ◆ 約 5 時間でフル充電になり、充電ランプが消灯します。
- ◆ 充電回数の目安は約 500 回です。



1. 充電中「電源ランプ」が点灯している間は AC アダプターを外さないでください。
充電時間は目安であり、外部環境や内蔵バッテリーの状態などによって変わります。
2. 充電中や再生中は本体底面が温かくなることがありますが、故障ではありません。
3. カーアダプターでは充電できません。また、カーアダプター使用時に電源ランプが点滅することがありますが、故障ではありません。

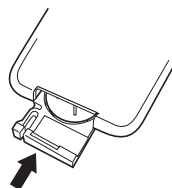
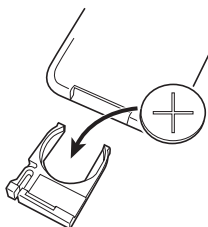
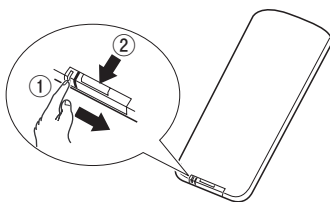
リモコンの使いかた

電池を入れる

工場出荷時にはすでに電池がセットされていますが、放電しないようにプラスチック製の保護シートがはさまれています。ご使用前に保護シートを丁寧に引き出してください。

また、電池を交換するときは、次の手順で交換してください。

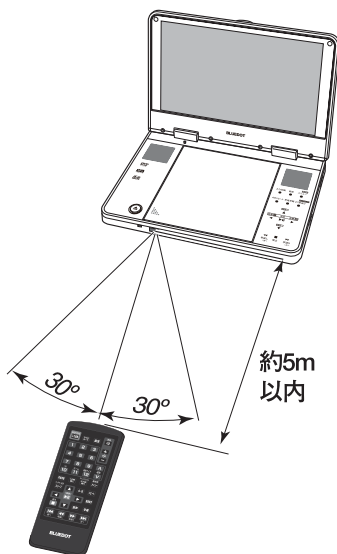
1. 電池ホルダーを外す 2. 電池を入れ換える 3. 元に戻す



①の部分にツメを掛けて矢印の方向へ押しながら、②の部分にツメを掛けて引き出します。

◆ 電池を交換するときは「リチウム電池 CR2025」をご使用ください。

リモコンの操作範囲



- ◆ リモコンは本体のリモコン受光部に向けて、図の範囲で操作してください。
- ◆ ボタンを押しても動作しにくくなった場合は、新しい電池と交換してください。
- ◆ リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外しておいてください。



リモコン受光部に直射日光が当たったり、インバーター式の蛍光灯の近くで使用すると誤動作をすることがあります。この場合は位置を変えてください。

ディスクの基本操作

ここではリモコン操作を中心に記載してあります。
同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。

ディスクをセットする

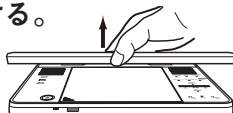
1. 電源の準備をする。

15 ページを参照して電源の準備をします。

2. 電源スイッチをオンにする。



3. カバーの手前を持って、カバーを開ける。

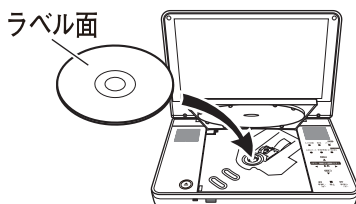


4. 開く(▲)ボタンを押してディスクトレイカバーを開ける。



5. ディスクをセットする。

ディスクのラベル面を上にして、中心軸にカチッと固定されるようにセットします。



6. ディスクトレイカバーを閉める。

ディスクトレイカバーの左手前を押して、カチッとロックするまでしっかり閉めます。

再生を始める

再生/一時停止(▶)ボタンを押す。



- ◆ DVDによってはメニュー画面が表示される場合があります。その場合は方向ボタンや再生/一時停止(▶)ボタンでメニューの内容を選んでください。

停止する

停止(■)ボタンを押す。



- ◆ 停止後に再生/一時停止(▶)ボタンを押すと、停止した位置から通常再生を開始します。
- ◆ 完全に停止する場合は停止(■)ボタンを2回押します。

一時停止する

再生中に再生/一時停止(▶)ボタンを押す。



- ◆ 一時停止中に再生/一時停止(▶)ボタンを押すと通常再生に戻ります。

操作禁止マークについて

DVDでは、制作者の意図により、シーンによって操作が禁止されていることがあります。その場合は右図のマークが表示されます。



いろいろな再生をする

ここではリモコン操作を中心に記載してあります。
同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。

DVDのメニュー再生

ディスクにメニュー画面が記録されているときは、次のようにして表示することができます。

メニューを表示する

1. メニューボタンを押す。



- ◆ メニュー画面が記録されているときでも、一定のシーンで操作が禁止されている場合があります。

2. 方向(▲/▼/◀/▶)ボタンや決定(■)ボタンでメニューの内容を選ぶ

- ◆ 操作方法はディスクによって異なります。詳しくはディスクケースなどをご参照ください。

字幕(サブタイトル)を切り換える

ディスクに複数の字幕が記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

字幕ボタンを押す。

押すごとに、字幕が切り換わります。

3種類の字幕が選択できることを示します。

字幕



字幕言語 01/03 日本語

- ◆ 字幕を表示させたくないときは、**字幕**ボタンを繰り返し押して**字幕オフ**にします。
- ◆ 字幕が記録されていないディスクでは、字幕を切り換えることはできません。

音声(オーディオ)を切り換える

ディスクに複数の音声記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

音声ボタンを押す。

押すごとに、音声切り換わります。

音声



4種類の音声を選択できることを示します。

音声言語 3/4 AC3 5.1CH 日本語

- ◆ 音声1つしか記録されていないディスクでは、音声切り換えることはできません。

早見早聞再生

DVDの映像を音声付きで早送り再生することができます。

早見早聞ボタンを押す。

音声付きで約1.5倍速再生します。

早見早聞



- ◆ もう一度早見早聞ボタンを押す、または再生/一時停止(■)ボタンを押すと通常再生に戻ります。
- ◆ 早見早聞機能はDVDビデオおよびVRモードで記録されたDVD(CPRM対応を含む)に対応しています。その他のメディアでは機能しません。

いろいろな再生をする（続き）

サーチ(早送り/早戻し)

ディスクを高速再生して希望の場所を探すことができます。

サーチ(◀◀ / ▶▶) ボタンを押す。

押すごとに、5段階で再生速度が変わります。



◆ サーチ中に再生/一時停止(⏸)ボタンを押すと通常再生に戻ります。

スキップ(飛び越し)

ディスクのチャプターやトラックを、飛び越したり出だしに戻ったりすることができます。

スキップ(◀◀ / ▶▶) ボタンを押す。

▶▶ ボタンを押す

押すごとに、次のチャプターまたはトラックに飛び越して再生を始めます。



◀◀ ボタンを押す

1回押すと、再生中のチャプターまたはトラックの出だしに戻ります。
その後は押すごとに、前のチャプターまたは前のトラックの出だしに戻って再生を始めます。



◆ 本体の早戻し、早送り(◀◀, ▶▶)ボタンを1秒以上長くタッチすると、スキップボタンとして機能します。

27秒送り

約27秒先に飛び越すことができます。

27秒送りボタンを押す。

押すごとに、約27秒先に飛び越します。

チャンネルリスト



◆ CMが1分間以上続くときは複数回押します。

10秒戻し

27秒送りや早送りで先へ行きすぎた場合に10秒間戻ることができます。

10秒戻しボタンを押す。

押すごとに、約10秒前に戻ります。



レジューム機能

再生中に電源を切った後、もう一度電源を入れると続きから再生することができます。

1. ディスクの再生中に電源スイッチをオフにする。
2. もう一度電源をオンにすると、中断した位置から再生が始まります。

- ◆ 再生位置の情報はDVDで5枚分まで記憶できます。6枚目のDVDの情報を記憶すると最も古い情報から記憶が解除されます。
- ◆ 停止(⏸)ボタンを2回押してディスクを完全に停止すると停止位置の記憶が解除されます。
- ◆ 音楽CDのレジューム記憶枚数は1枚です。
- ◆ 静止画のレジュームはサポートしていません。

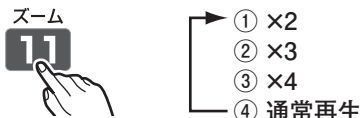
いろいろな再生をする（続き）

ズーム再生

映像を拡大、または縮小することができます。

ズーム(11)ボタンを押す。

押すごとに、ズーム倍率が変わります。



◆ 拡大表示のとき、方向

( /  /  / ) ボタンを押すと、表示位置を移動することができます。

◆ ズーム(11)ボタンを繰り返し押し続けて倍率表示を消すと、通常再生に戻ります。

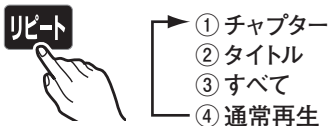
リピート再生(繰り返し)

ディスク全体やタイトル、トラックなどを繰り返し再生することができます。

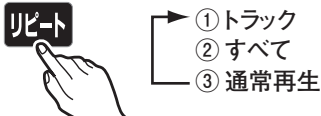
リピートボタンを押す。

押すごとに、リピートモードが切り換わります。

DVD 再生時



CD 再生時



◆ リピートボタンを繰り返し押し続けて表示をオフにすると、再生中のチャプターまたはトラックから通常再生に戻ります。

◆ ディスクによっては操作できないことがあります。

AB リピート再生

再生中に自分で指定した区間を繰り返し再生することができます。

1. リピートを開始させる場所で A-B ボタンを押す。



2. リピートを終了させる場所で、もう一度 A-B ボタンを押す。



◆ 指定した区間を繰り返し再生します。

◆ A-B ボタンを繰り返し押して表示をオフにすると、再生中の位置から通常再生に戻ります。

いろいろな再生をする（続き）

再生情報を表示する

チャプターやトラックの経過時間や残り時間など、再生中の映像や音楽の情報を確認することができます。

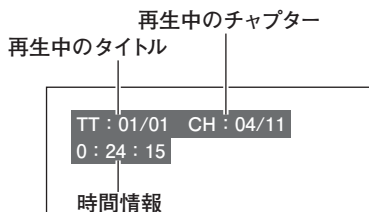
画面表示ボタンを押す。

押すごとに表示内容が切り換わります。

DVD再生時

画面表示

- 
- ① タイトル経過時間
 - ② タイトル残り時間
 - ③ チャプター経過時間
 - ④ チャプター残り時間
 - ⑤ 画面表示オフ



- ◆ 画面表示ボタンを繰り返し押して表示オフにすると表示が消えます。

CD再生時

画面表示

- 
- ① トラック経過時間
 - ② トラック残り時間
 - ③ ディスク経過時間
 - ④ ディスク残り時間

再生中のトラック

トラック : 07/20
0 : 20

時間情報

消音(ミュート)にする

音声を一時的に消すことができます。

消音ボタンを押す。



- ◆ 消音ボタンをもう一度押すと、元の音量に戻ります。
- ◆ 電源スイッチをオフにすると解除されます。

スリープ機能

指定時間後に本機を待機状態にすることができます。

スリープボタンを押す。

タッチキー設定

スリープ



スリープが選択されていることを確認します。
左右方向ボタンを押すごとに、指定時間が切り換わります。

- 
- ① 15分
 - ② 30分
 - ③ 60分
 - ④ 120分
 - ⑤ 180分
 - ⑥ 0分

※時間はおよその目安です。

テレビを見る

ここではリモコン操作を中心に記載してあります。
同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。

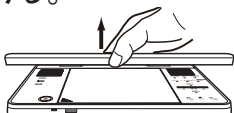
チャンネルを設定する

ご購入後初めてテレビを視聴するときは、
本機が自動でチャンネルスキャンをしてチャンネルが設定されます。

1. 電源スイッチをオンにする。



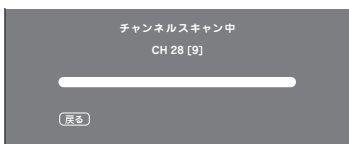
2. カバーの手前を持って、カバーを開ける。



3. 入力切換ボタンを押し、テレビに切り換える。



4. 自動でチャンネルスキャンが始まります。



- ◆ チャンネルの設定が終了すると放送受信画面になります。



チャンネルが表示されない場合は、アンテナが正しく接続されているか、またアンテナケーブルに地上デジタル放送の信号が来ているかご確認ください。

チャンネルを再設定する

受信状況が変わったり、アンテナを移動したりした場合は、次の操作をして再度チャンネルスキャンを行ってください。

本体の設定ボタンを1秒以上長くタッチする。



- ◆ 設定メニューが表示されているときは、戻るボタンでメニューを閉じてから、再び長くタッチしてください。

チャンネルを選ぶ

選局ボタンを使うか、またはチャンネル番号を直接押してチャンネルを切り換えます。

選局ボタンを押し番組を選ぶ。



- ◆ 押すたびにチャンネルが切り換わります。登録されていないチャンネルはスキップされます。

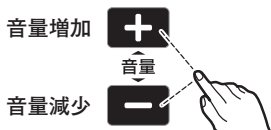
数字ボタンを押す。



- ◆ チャンネルが割り当てられていない番号を押しても、チャンネルは切り換わりません。

音量を調節する

音量－/＋ボタンを押す。



消音(ミュート)にする

音声を一時的に消すことができます。

消音ボタンを押す。

消音



- ◆ 消音ボタンをもう一度押すと、元の音量に戻ります。
- ◆ 電源スイッチをオフにすると解除されます。

字幕を切り換える

字幕が放送されている番組では、ボタンを押すごとに表示/非表示を切り換えることができます。

放送視聴中に字幕ボタンを押す。

押すごとに、字幕の表示/非表示が切り換わります。

字幕



- ◆ 字幕を表示させたくないときは、字幕ボタンを押して字幕を非表示にします。
 - ◆ 字幕が放送されていない番組では、字幕を切り換えることはできません。
- ※ 画面にあらかじめ表示されている字幕(テロップ)は切り換えることはできません。

音声を切り換える

第2音声が発送されている番組では、ボタンを押すごとに切り換えることができます。

放送視聴中に音声ボタンを押す。

押すごとに、主音声、副音声切り換わります。

音声



番組表を表示する

現在受信中の放送の番組表を表示することができます。

視聴中に番組表ボタンを押す。

番組表

メニュー



番組表	2012/04/02
1 11:05 5.1SS第54回道後高校野球大...	
2 16:50 NHK総合1・東京	
3 16:55 NHKEテレビ2東京	
4 17:05 NHKEテレビ3東京	
5 18:00 NHKEテレビ2東京	

- ◆ 上下方向ボタンで番組を選択して、決定ボタンを押すと番組内容が表示されます。
- ◆ 戻るボタンを押すと元の映像に戻ります。

チャンネルリストを表示する

設定されているチャンネルと放送局のリストを表示します。

チャンネルリストボタンを押す。

チャンネルリスト

27秒送り



チャンネルリスト	フルセグ
1 RC 1 011 NHK総合1・東京	
2 RC 1 012 NHK総合1・東京	
3 RC 2 021 NHKEテレビ1東京	
4 RC 2 022 NHKEテレビ2東京	
5 RC 2 023 NHKEテレビ3東京	

- ◆ 上下方向ボタンでチャンネルを選択して、決定ボタンを押すと、チャンネルが切り換わります。
- ◆ 戻るボタンを押すと元の映像に戻ります。

MP3/JPEG ファイルを再生する

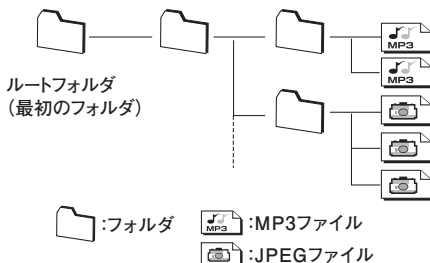
本機では、高音質なままファイルサイズを小さくできる MP3 ファイルや、デジタルカメラなどで広く使われている JPEG 画像を再生することができます。

- 再生するファイルには拡張子が「.mp3」(MP3 ファイル)、「.jpg」(JPEG ファイル) 以外のデータを混ぜないでください。
- 異なったファイル形式に上記の拡張子を付けることは避けてください。
大きな雑音が発生する恐れがあります。

ファイル：音楽CDのトラック(曲)の相当します。

フォルダ：ファイルを収納しているフォルダです。

ファイルやフォルダは階層構造になっています。



準備

メディアをセットする

◆ ディスクを再生するとき

電源スイッチをオンにし、ディスクをセットする。(17ページ参照)

◆ メモリーカードを再生するとき

- 電源スイッチをオフにする。
- SDHC/SDメモリーカードをカードスロットに差し込む。



SDHC/SD
メモリーカード

- 電源スイッチをオンにする。
- ※ SDHC/SDメモリーカードを抜き差しするときは必ず電源スイッチをオフにしてください。

再生するメディアを選択する

リモコンのDVD/カードボタンを押し、DVDとメモリーカードを切り換える。



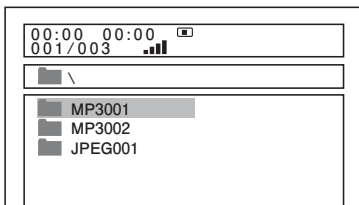
※ ディスクが入っていない状態でメモリーカードを差し込むと、自動的にこれらのメディアを読み込みます。

※ 記録された環境や記録状態、メディアの製造メーカーなどによっては、本機で再生できない場合があります。

メニュー画面から選んで再生する

1. メディアを選択する。

メディアの情報を読み込んでメニュー画面が表示されます。

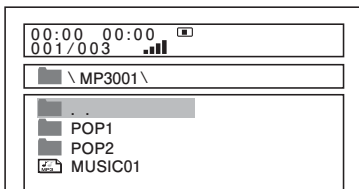


2. 下方向(▼)ボタンを押して開きたいフォルダを選び、再生/一時停止(▶||)ボタンを押す。

フォルダの中身が表示されます。

目的のファイルが表示されるまで、フォルダの選択を繰り返します。

一番上にある「..」フォルダを選択すると、1つ上のフォルダへ移動します。



3. 再生するファイルを選び、再生/一時停止(▶||)ボタンを押す。

再生が始まります。



- ◆ 画像を表示するときは、ファイルサイズによっては表示に時間がかかることがあります。

いろいろな再生

スキップ(飛び越し)

再生中にスキップ(◀◀ / ▶▶) ボタンを押す。

押すごとに、前後のファイルに飛び越します。

- ◆ 再生中のフォルダを超えてスキップすることはありません。

- ◆ ファイルリピート中は機能しません。

リピート再生(繰り返し)

リピートボタンを押す。

押すごとに、ファイルリピート、フォルダリピート、リピートオフが切り換わります。

ファイルリピート：

1つのファイルを繰り返します。

フォルダリピート：

フォルダ内の全ファイルを繰り返します。

全リピート：

全てのファイルを繰り返します。

AB リピート再生

リピートを開始させる場所と終了させる場所で、それぞれ A-B ボタンを押す。

指定した区間を繰り返し再生します。

- ◆ もう一度 A-B ボタンを押すと、再生位置から通常再生に戻ります。
- ◆ JPEG ファイルの再生中は機能しません。

JPEG ファイルのいろいろな再生

JPEG ファイルの再生中に一定の操作をすることで、様々な機能を楽しむことができます。ファイルサイズによっては表示に時間がかかることがあります。

前後の画像をスキップする

ボタンを押して前後の画像にスキップします。

画像表示中にスキップボタンを押す。



◆ ファイルリピート再生中は機能しません。

サムネールモードで選ぶ

画像を12ファイルずつ縮小表示させることができます。

1. 画像表示中に停止ボタンを押す。



2. 左右方向(◀/▶)ボタンで再生したい画像を選択し、再生/一時停止(⏸)ボタンを押す。

選んだファイルから再生が始まります。

次の12ファイル分を表示するには後スキップ(▶▶)ボタンを、前の12ファイルに戻るには前スキップ(◀◀)ボタンを押します。

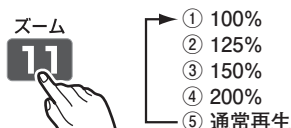
◆ 画面右下のガイドに従って操作してください。

ズーム再生

画像を拡大することができます。

ズーム(11)ボタンを押す。

押すごとに、ズーム倍率が変わります。



◆ 拡大表示のとき、方向(▲/▼/◀/▶)ボタンを押すと、表示位置を移動することができます。

◆ ズーム(11)ボタンを押すと一時停止状態になります。

◆ 画面画素数を超える高解像度の画像であっても一旦画面に合わせて縮小され、この縮小画像を拡大します。

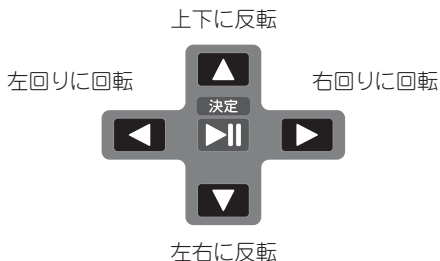
画像を回転/反転表示する

画像を90度ずつ左右に回転させたり、上下/左右に反転させることができます。

画像表示中に左右方向(◀/▶)

または上下方向(▲/▼)ボタンを押す。

押すごとに、画像が回転または反転します。



◆ ファイルサイズによっては表示に時間がかかることがあります。

初期設定を変更する

設定内容の説明

本機では、テレビへの出力方法や画質調整、DVD 言語など、様々な設定がなされています。これらの初期設定値を、お好みやお使いの接続機器などに合わせて変更することができます。設定内容は次のようになっています。( で囲まれた項目が工場出荷時に設定されています。)
【DVD の設定】

テレビ表示(ディスクによっては設定が有効にならない場合があります。)

パンスキャン /PS:

本機を通常のテレビに接続するときに選択します。
ワイドスクリーン映像を再生した場合は左右が
カットされます。



レターボックス /LB:

本機を通常のテレビに接続するときに選択します。
ワイドスクリーン映像を再生した場合は上下に
黒い帯が表示されます。



ワイド:

本機をワイドスクリーンテレビに接続するときに
選択します。



全
般
設
定

OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ) 言語

 **日本語**と**英語**が選べます。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの**オン**または**オフ**を選択します。
スクリーンセーバーを**オン**にすると約5～6分間映像が停止するか、操作がなかった場合、スクリーンセーバー画面になります。さらに25分間経過すると、スタンバイ状態になります。

テレビ方式

PAL:

ヨーロッパなどで採用されているテレビのタイプです。

NTSC:

日本国内(ほかにアメリカなど)で採用されているテレビのタイプです。

音声設定

スーパー BASS、クリアブースト:

音質効果の**オン**または**オフ**を選択します。

ダイナミックレンジ:

ドルビーデジタルディスクを再生するとき、最大音量と最小音量の幅を圧縮して、小音量でも音声を聞き取りやすくすることができます。

OFF が圧縮無しで、**FULL** がダイナミックレンジを最大限圧縮します。

初期設定を変更する(続き)

画 質 設 定	明るさ
	液晶画面の明るさを－10～＋10の間で設定します。 決定()ボタンで選択し、左右方向( / )ボタンで調節します。 再び決定ボタンを押すと決定し、前のメニューに戻ります。
	コントラスト
	液晶画面のコントラストを－10～＋10の間で設定します。 決定()ボタンで選択し、左右方向( / )ボタンで調節します。 再び決定ボタンを押すと決定し、前のメニューに戻ります。
	色合い
	液晶画面の色合いを－10～＋10の間で設定します。 決定()ボタンで選択し、左右方向( / )ボタンで調節します。 再び決定ボタンを押すと決定し、前のメニューに戻ります。
	彩度
	液晶画面の彩度を－10～＋10の間で設定します。 決定()ボタンで選択し、左右方向( / )ボタンで調節します。 再び決定ボタンを押すと決定し、前のメニューに戻ります。

パ ス ワ ー ド	パスワード変更
	変更:「視聴年齢制限」のパスワードを変更をするときに選択します。

※「基本設定」はディスクの停止中のみ操作できます。

基 本 設 定	音声言語、字幕言語、ディスクメニュー
	音声、字幕、ディスクメニューのそれぞれで、再生時の言語を選択します。 ディスクに記録されている指定言語が、この設定よりも優先されます。 設定可能言語:英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語
	視聴年齢制限
	子どもに見せたくないディスクなどのレベルを規制する機能を設定します。 ディスクによってはこの設定が有効にならない場合があります。 例えば 5. PG-R に設定すると 6. R 以上のレベルは再生できなくなりますが、そもそもディスクに規制レベルが設定されていない場合は、この設定は機能しません。 1. Kid Safe、2. G、3. PG、4. PG-13、5. PG-R、6. R、7. NC-17、8. アダルト から選択します。
	初期設定
	リセット:工場出荷時の設定に戻します。

【テレビの設定】

テレビの設定	受信方法設定
	放送の受信方式を「自動」、「フルセグ優先」または「ワンセグ優先」に切り換えます。 ※ 「フルセグ優先」「ワンセグ優先」は、それぞれの放送のみ受信します。
	言語
	テレビメニューの言語を 日本語 と 英語 から選択します。
	周波数
	地上波 とケーブルから選択します。
	PG設定
	PG4～18, 制限なし(PG-) から選択します。
	中継局サーチ
	中継サーチ機能を「オフ」、「自動」または「手動」に切り換えます。 ※ 地上デジタル放送は、同じ放送局でも受信エリアによってチャンネルが異なることがあります。本機能は、受信エリアを移動するなどして受信状態が悪くなったときに中継局のスキャンを行います。
	オートサーチ
	チャンネルスキャンを行います。
	デバイス情報
	B-CAS 情報や本機のバージョン情報を表示します。
	パスワード変更
	変更: 「視聴年齢制限」のパスワードを変更をするときに選択します。
	工場初期化
	工場出荷時の設定に戻します。

[DVDの設定]

DVD以外を視聴している時はDVD⇒テレビ/入力切換ボタンを押してDVDに切り換えます。

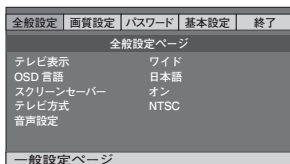
DVD⇒テレビ
入力切換



各種設定を行う

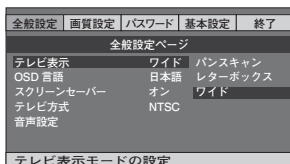
1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。

設定



基本設定はディスクの完全停止中のみ変更できます。

2. 左右方向(◀/▶)ボタンで分類を選び、上下方向(▲/▼)ボタンで項目を選ぶ。



3. 右方向(▶)ボタンを押し、上下方向(▲/▼)ボタンで設定内容を選択する。

上図の例では「テレビ表示」の「ワイド」を選んでいきます。

4. 決定(▶)ボタンを押して決定する。

5. 左方向(◀)ボタンで前のメニューに戻る。

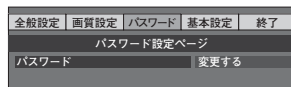
6. 設定ボタンを押す。
設定画面を終了します。

パスワードを変更する

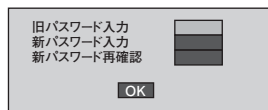
1. ディスクの再生中または停止中に設定ボタンを押す。

2. 左右方向(◀/▶)ボタンで「パスワード」を選び、下方向(▼)ボタンを押す。

3. 右方向(▶)ボタンを押す。

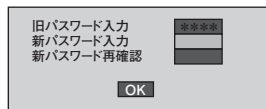


4. 「変更する」が選択されるので、決定(▶)ボタンを押す。



5. 数字ボタンで旧パスワードを入力する。

パスワードは4桁です。工場出荷状態では「9999」に設定されています。



6. 新パスワードを入力する。

7. 新しいパスワードをもう一度入力し、決定(▶)ボタンを押す。

パスワードが変更されます。

8. 設定ボタンを押す。
設定画面を終了します。

初期設定を変更する(続き)

【テレビの設定】

テレビ以外を視聴している時はDVD⇒テレビ/入力切換ボタンを押してテレビに切り換えます。

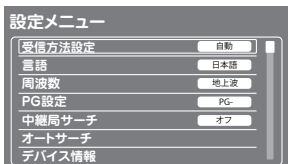
DVD⇒テレビ
入力切換



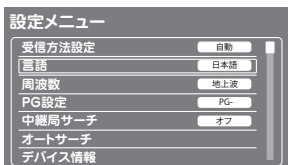
各種設定を行う

1. テレビ放送を視聴中に設定ボタンを押す。

設定



2. 上下方向(▲/▼)ボタンで項目を選ぶ。



上図の例では「言語」を選んでいます。
下方向ボタンを押し続けると画面がスクロールして次の項目が表示されます。

3. 決定(▶)ボタンを押して設定を変更する。



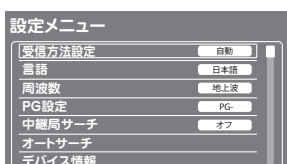
4. 戻るボタンで設定画面を終了する。



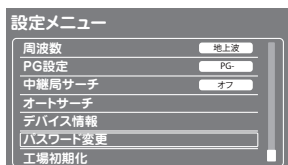
パスワードを変更する

1. テレビ放送を視聴中に設定ボタンを押す。

設定



2. 上下方向(▲/▼)ボタンでパスワード変更を選び決定(▶)ボタンを押す。



3. 数字ボタンで旧パスワードを入力して、決定(▶)ボタンを押す。

パスワードは4桁です。工場出荷状態では「9999」に設定されています。



4. 新パスワードを入力して決定(▶)ボタンを押す。

5. 新しいパスワードをもう一度入力し、決定(▶)ボタンを押す。

パスワードが変更されます。

6. 設定ボタンを押す。

設定画面を終了します。

液晶画面を調節する

液晶画面の表示モードを変更することができます。

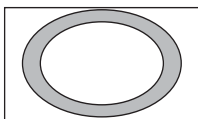
画面の明るさ、コントラスト、色合い、彩度は設定メニュー（28 ページ）で変更できます。

画面の表示モードを切り換える

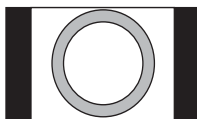
DVD の再生中または停止中に、リモコンの画面サイズ (12) ボタンを押す。

押すごとに、次のように切り換わります。

①全画面 (16:9) モード



②標準 (4:3) モード



故障かな？と思ったら

故障と思われる症状が出た場合、もう一度下の表にしたがって確認してください。

症 状	対 応
電源がオンにならない。	・ 本機とACアダプターとの接続が確実か、ご確認ください。 ・ 内蔵バッテリーは、あらかじめ充電してからご使用ください。 ・ 高温/低温下では使用できない場合があります。
ディスクが再生できない。	・ ディスクをクリーニングしてから再度お試しください。 ・ 本機で再生できる規格のディスクか、ご確認ください。 ・ テレビ番組を録画したDVDは、ファイナライズ処理を施してください。 ・ ディスクトレイ内でディスクがしっかりと固定されているか、ご確認ください。 ・ ディスクはラベル面を上にして固定してください。 ・ 本機内に結露が無いが、ご確認ください。ディスクを取り出し、電源スイッチをオフにし、乾燥した場所で結露がなくなるまで放置してください。 ・ AV入力モードになっていたり、メモリーカードの再生画面になっていたりしないか、ご確認ください。
テレビに映像が出ない。	・ テレビとの接続が確実か、ご確認ください。 ・ 本機に付属しているAV出力用オーディオ・ビデオコードをご使用ください。 ・ 別の端子にプラグを接続していないか、ご確認ください。 ・ 外部入力モードへの切り換えなど、テレビ側の操作が適正か、ご確認ください。 ・ 本機の「テレビ方式(NTSC/PAL)」の設定が適切か、ご確認ください。 ・ ビデオデッキやDVDレコーダーなどを経由している場合は、直接テレビに接続してください。
音が出ない。	・ 本機の音量(ボリューム)が最小になっていないか、ご確認ください。 ・ 本機が消音(ミュート)になっていないか、ご確認ください。 ・ ヘッドホンが差し込まれたままになっていないか、ご確認ください。 ・ テレビやアンプとの接続が確実か、ご確認ください。 ・ テレビやアンプの音量操作が適正か、ご確認ください。 ・ DTS形式の音声には対応していません。
音質が悪い。	・ 収録されている音声の音質に問題はないかまたは録音レベルが高すぎないか、ご確認ください。 ・ テレビやアンプとの接続が確実か、ご確認ください。 ・ 本機に携帯電話を近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。
リモコンが効かない。	・ 工場出荷時は、電池が放電しないように保護シートが挟まれています。この保護シートを丁寧に引き出してから使用してください。 ・ 本機の電源スイッチがオフになっていないか、ご確認ください。 ・ リモコンを本機の受光部に向けて操作してください。 ・ リモコンと本機の間にある障害物を取り除いてください。 ・ 電池を新しいものと交換してください。

バッテリーを充電できない。 動作時間が短い。	・ 本機の許容動作温度範囲外の高温 / 低温下では正常に充電、放電できない場合があります。 ・ スリープタイマーでスタンバイ状態になった後に長時間放置すると、バッテリー残量が少なくなったり、ゼロになったりします。電源スイッチをオフにし、充電してください。 ・ 長時間ご使用にならなかった場合、しばらくの間、動作時間が短くなる場合があります。充放電を繰り返すと回復します。 ・ バッテリーの寿命の可能性があります。弊社サポートセンターにご相談ください。お客様ご自身でのバッテリー交換はできませんのでご了承ください。
テレビが映らない。	・ AV入力モード(外部入力モード)になっていないかご確認ください。 ・ アンテナケーブルがきちんと接続されているか、ケーブルが破損していないかご確認ください。 ・ チャンネルが正しく設定されていない可能性があります。再度チャンネルスキャンを行ってください。 ・ 受信レベルが低すぎるか高すぎる可能性があります。 ・ UHF アンテナが設置されているか、アンテナの向きが正しいかご確認ください。
映像が乱れたり途切れたりする。	・ 受信レベルが低いときや不安定なときは、映像がモザイク状に乱れたり途切れたりすることがあります。 ・ 受信レベルが低く自動的にワンセグに切り換えると画質や動きの滑らかさが低下します。 ・ 外部機器との接続が正しく行われているかご確認ください。 ・ 元の映像データ自体に問題がないかご確認ください。
ワンセグに勝手に切り換わる。	・ 受信レベルが低いチャンネルを視聴すると自動的にワンセグに切り換わります。フルセグのみを受信したい場合は「受信方式設定」から「フルセグ優先」を選んでください。なお、チャンネル別に「ワンセグ優先」と「フルセグ優先」を設定することはできません。

技術仕様

型名	地上デジタル放送対応 ポータブルDVDプレーヤー BDP-1950/TV
画面サイズ	9インチワイド 19.8×11.2×22.7cm
画面画素数(水平×垂直)	800×480×3(RGB)画素
外形寸法(幅×奥行×高さ)	239×160×35mm
本体質量	約0.9kg(内蔵バッテリーを含む)
連続再生時間	約3時間
バッテリー充電時間	約5時間
放送方式	UHF 13～62cH(ISDB-T地上デジタル放送)
スピーカー出力	1W×2
電源	充電式バッテリー内蔵 ACアダプター(DC9V 1.0A, 100～240V対応) カーバッテリーアダプター(12V車専用)
消費電力	7W以下
許容動作温度	5～35℃
入出力端子	ヘッドホン×2、AV出力×1、AV入力×1、アンテナ端子×1、 miniB-CASカードスロット×1、電源入力×1、 サービス端子(使用しません)
メモリーカード	SDHCメモリーカード(32GBまで) SDメモリーカード(2GBまで)

※ 液晶パネルは高い精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

※ 上記仕様は参考値です。また、仕様は改善のため予告なく変更する場合があります。

著作権について

- ◆ 著作物を無断で複製、放送、有線放送、上映、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)などを行なうことは、法律により禁止されています。
- ◆ 本機は、米国の特許およびその他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用には Rovi 社の許可が必要であり、同社の許可がない限りは、一般家庭および特定の視聴用に制限されています。
また、解析(リバースエンジニアリング)や改造は禁止されています。
- ◆ 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- ◆ Dolby、ドルビー、およびダブル D 記号「DD」は、ドルビーラボラトリーの商標です。
- ◆ DVD ロゴは、DVD フォーマットロゴライセンシングの商標です。



バッテリーのリサイクルについて

本機に内蔵されている充電電池はリサイクルすることができます。

取り外しのための分解はお客様自身で行わずに、弊社お客様サポートセンターまでご相談ください。

困ったときは・・・

- p.33～p.34の「故障かな?と思ったら」をご確認ください。
- 弊社ホームページの『FAQ(よくあるご質問と答え)』をご確認ください。
<http://www.bluedot.co.jp/support/>
- お客様サポートセンターにご連絡ください。
BLUEDOT お客様サポートセンター
TEL:0570-010080(ナビダイヤル)
※ナビダイヤルをご利用になれない場合は043-295-8882まで
※ご利用時間は10:00～17:00(土、日、祝日、会社指定休日を除く)
FAX:043-295-8852
E-mail:support@bluedot.co.jp

BLUEDOT[®] 株式会社

〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台2-3-1

E-mail : info@bluedot.co.jp

ホームページ : <http://www.bluedot.co.jp/>